

# 「新しい茨城」への挑戦

---

令和3年1月15日茨城県総合計画審議会

- ◇最近の茨城の動き
- ◇「新しい茨城」への挑戦

# 最近の茨城の動き

---

## 県内の発生状況

◆累計感染者数(R3.1.11現在) **3,207人**

内訳	療養中	<b>724人</b>	退院・退所等	<b>2,374人</b>
	死亡	<b>40人</b>	その他	<b>69人</b>

## 県内経済・雇用への影響

### ◆県内中小企業の売上の減少

・前年比3割以上減：38%、5割以上減：20% (R2.12)

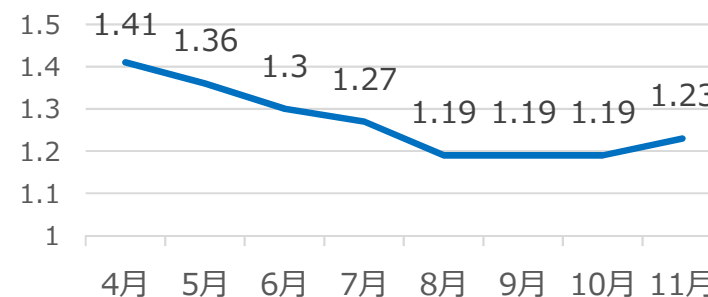
※県中小企業課「県内中小企業へのアンケート調査」

### ◆県内有効求人倍率の減少

・1.41 (R2.4) → 1.23 (R2.11)

※茨城労働局公表資料

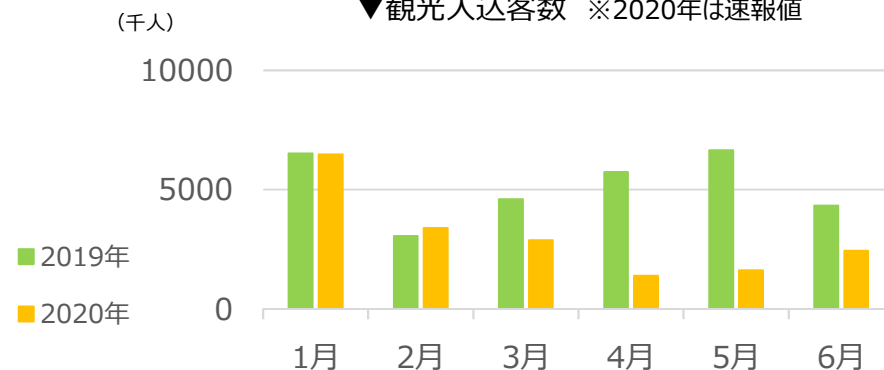
▼県内有効求人倍率の推移



## 入国制限の強化、外出自粛等による県施策への主な影響

- ・オリ・パラの開催延期
- ・外国クルーズ船の寄港中止 (R2寄港予定の4隻全て中止)
- ・外国人宿泊観光客数、海外からの催行ツアー数の減少  
(R2.11訪日外客数推計前年同月比97.7%減 [日本政府観光局])
- ・茨城空港の旅客数の減少 (R2.4~10月旅客数前年同期比78%減 [東京航空局調べ])
- ・観光入込客数、観光消費額の減少  
(R2上期(1~6月)観光入込客数前年同期比41.3%減 [県観光物産課調べ])
- ・地域公共交通の利用者の減少  
(R2.3コミュニティ交通の利用者数前年同月比25.9%減 [県交通政策課調べ])

▼観光入込客数 ※2020年は速報値



# 新型コロナウイルス感染症への対応②

## 茨城版コロナNextの策定 (R2.5.7策定、R2.7.3改定)

- 感染症対策と社会経済活動の維持を両立するため、医療提供体制や感染状況などを総合的に考慮してステージに応じた感染症対策を行う本県独自の対策指針として策定 (令和2年12月26日現在)

茨城県全体	Stage4	Stage3	Stage2	Stage1
<b>主な判断基準</b>	<b>【感染爆発・医療崩壊のリスクが高い状態】</b> 陽性者数 - 県内増加(10人/日超) - 県内経路不明(5人/日超) 重症病床稼働率60%超 - 病床稼働率70%超	<b>【感染が拡大している状態】</b> 陽性者数 - 県内増加(10人/日以下) - 県内経路不明(5人/日以下) 重症病床稼働率60%以下 - 病床稼働率70%以下	<b>【感染が概ね抑制できている状態】</b> 陽性者数 - 県内増加(5人/日以下) - 県内経路不明(3人/日以下) 重症病床稼働率30%以下 - 病床稼働率45%以下	<b>【感染が抑制できている状態】</b> 陽性者数 - 県内増加(1人/日以下) - 県内経路不明(1人/日以下) 重症病床稼働率10%以下 - 病床稼働率30%以下
<b>県民</b>  高齢者等：概ね70代以上、基礎疾患等有等の重症化リスクの高い方及び妊婦	○ 国の対応状況に応じて自粛要請の可能性有 ※ 高齢者等へ不要不急の外出自粛を要請	○ 外出自粛は実施しない ※ 高齢者等へ注意喚起 (状況に応じて外出自粛要請の可能性あり)	○ 外出自粛は実施しない ※ 高齢者等へ注意喚起	○ 外出自粛は実施しない
※ アマビエちゃんが掲示されている施設・店舗等の利用をお願い ※ 利用した際は、利用日ごと、施設・店舗等ごとに利用登録をお願い ※ 国の接触確認アプリ「COCOA」との併用を推奨				
<b>事業者 (イベント含む)</b>	○ 国の対応状況に応じて休業要請(開催自粛)の可能性有	○ 休業要請は実施しない	○ 休業要請は実施しない	○ 休業要請は実施しない
※ アマビエちゃんの登録と宣誓書の掲示をお願い				
<b>学校</b>  学校再開ガイドラインの順守を徹底	○ 国の対応状況に応じて分散登校の可能性有	○ 通常登校・通常授業 ○ 部活動 ○ 給食 (特別支援学校は状況に応じて分散登校) (市町村立学校も同様の対応)	○ 通常登校・通常授業 ○ 部活動 ○ 給食 (市町村立学校も同様の対応)	○ 通常登校・通常授業 ○ 部活動 ○ 給食 (市町村立学校も同様の対応)
※ 学校行事(運動会、体育祭、文化祭等)開催時はアマビエちゃんを活用し、来校者へ利用登録をお願い				

(注1) 医療機関、高齢者施設、障害者施設は最大級の嚴重な対策を維持

(注2) 東京都への移動・滞在は、指標⑥都内経路不明陽性者数がStage2、Stage3及びStage4…注意

(Stage4では国の対応状況に応じて「自粛」の可能性有) → 直近1週間の陽性者が人口10万人あたり15人を超えているため、東京都への移動・滞在は特に注意

## いばらきアマビエちゃん

### ◆「いばらきアマビエちゃん」の導入(R2.6.24)

ガイドラインに沿って感染防止に取り組んでいる事業者を応援するとともに、感染者が発生した場合に、その感染者と接触した可能性がある方に対して注意喚起の連絡をし、感染拡大の防止を図ることを目的としたシステム

#### 事業者の方

QRコードが記載された「感染防止対策宣誓書」を施設内に掲示

#### 県民の方

店舗内等に掲示されているQRコードを読み取り、登録  
→感染者が同一日に訪れた場合、メールで注意喚起のお知らせ



### ◆「茨城県新型コロナウイルス感染症の発生の予防又はまん延の防止と社会経済活動との両立を図るための措置を定める条例」(R2.10.2施行)

「いばらきアマビエちゃん」を活用した対策の徹底（事業者の登録義務付け等）

### ◆「いばらきアマビエちゃん」事業者登録協力金【R2.9補正】

条例の義務対象事業者に感染防止対策の経費を一部助成（12月終了）

### ◆「いばらきアマビエちゃん」利用促進キャンペーン【R2.9補正】

いばらきアマビエちゃんの利用者を対象に抽選で県産品等をプレゼント  
→11/16利用者登録分から県産品プレゼントキャンペーンを拡充

県産品プレゼントキャンペーン  
<5000円相当の県産品・11月商品例>

区分	商品
肉・魚・ 農産物・野 菜	 
酒	 
菓子・飲 料	  
その他	   

▲11月のプレゼント例（5,000円相当の県産品）

## 医療提供体制の強化

### ◆医療提供体制、検査体制の拡充

- ・感染者の増加に合わせた入院病床の拡充
- ・集中検査など濃厚接触者に限らない幅広い検査の徹底
- ・茨城県版クラスター対策班の派遣（医療施設、福祉施設等）

### ◆季節性インフルエンザとの同時流行対策（検査プロセスの見直し）

県医師会の協力のもと、指定の「診療・検査医療機関」に**直接相談・受診できる体制へ移行**（11/2～）

※県指定医療機関（1/4現在）：670箇所（相談、診療検査まで一連の対応が可能な医療機関168箇所）

## 医療機関・医療従事者への支援

国の補正予算を活用し、入院病床の確保、人工呼吸器等の設備や防護服等の資機材の調達、院内感染防止対策等への補助や、医療従事者への慰労金の交付を速やかに実施したほか、次の独自支援策を実施

### ◆茨城県新型コロナウイルス感染症対策医療従事者応援金の創設【R2予備費（R2.4～）】

医療従事者に感謝の気持ちを伝え、県民が一体となって応援するため、  
県民のみなさまからの寄附や予備費により、  
新型コロナウイルス感染症入院患者を受け入れた医療機関が  
医療従事者等に特別手当等を支給できるよう応援金を交付

### ◆感染症入院受入医療機関臨時支援事業【R2.12補正】

新型コロナウイルス感染症の入院患者の受入に伴う医療機関の負担増を、  
陽性患者の受入実績に応じて支援



▲Clap For Carersの実施風景

## 事業者向け支援

### ◆地域企業活力向上応援事業【R2.7補正】

市町村と連携して、需要創出や事業継続を支援することで、中小企業の再起を後押し

- ・プレミアム商品券事業等地域への消費喚起を目的とした事業
- ・家賃、光熱水費等の固定費に対する補助事業

→44市町村が行う取組に対し、**総額約31億円の交付決定**（12月末時点）

## デジタル技術の活用

### ◆DXイノベーション推進プロジェクト事業【R2.12補正】

- ・企業の生産性向上や新しい生活様式への対応などウィズコロナ時代に本県が抱える地域課題解決のため、産学官の多様な主体によるプロジェクトを公募
- 新事業や新サービス創出へのチャレンジを支援

## オンラインを活用した地域経済の振興

### ◆県産品お取り寄せ販売促進事業【R2.4補正】

- ・「いばらき県産品お取り寄せサイト」（県観光物産協会）において実施
- 新規出品に係る経費、販売手数料の免除
- 購入価格の20%を県から補助
- 事業者支援を強化

### ◆いばらきグローバルビジネス推進事業【R2.9補正】

- ・海外ECサイトを活用した販路開拓支援
- アメリカとシンガポールにおいて現地のECサイトと連携し、県産品の販売を促進
- ・Web会議システムを活用したオンライン商談の支援



▲いばらき県産品お取り寄せサイト

## 観光需要の創出

### ◆いばらき観光誘客促進事業【R2.7補正】

「新しい生活様式」に沿ったイベントの開催による誘客を通じ、地域の活性化につなげる

→民間事業者への補助により、集客力のあるイベントを開催

### ◆県内宿泊促進事業（いばらき応援割）【R2.6補正】

県内宿泊事業者を対象に、宿泊料金の割引相当額を支援

## ウィズコロナ時代の新たな観光資源

### ◆いばらきキャンプ魅力発信事業【R2.6補正】

本県の多様な自然環境と首都圏からの近接性を生かし、需要の高まるキャンプをテーマとした誘客を促進

- ・県内キャンプ情報のポータルサイト制作
- ・キャンパーを対象としたモニターイベントの開催 等

### ◆サイクリング

#### ・サイクリストにやさしい宿認定発信事業

要件を満たす沿線市町村の宿泊施設を「サイクリストにやさしい宿」に認定 ※25施設（R2.12現在）

#### ・つくば霞ヶ浦りんりんロード魅力向上事業【R2.12補正】

- ・広域レンタサイクルの自転車更新・追加
- ・予約システムのグレードアップ
- 手ぶらで気軽に楽しめる広域レンタサイクルシステムの充実・強化

#### ▼認定事業一覧

偕楽園チームラボデジタルアート&周辺イベント

WELCOME TSUCHIURA PROJECT～Ride&Trip～

いばらきスポーツ&アートナイト～伝統とテクノロジーの邂逅～

KASAMA OUTDOORS&ART×ACTIONSPORTS FES

宿泊料金（税込）	支援額（1人1泊あたり）
10,000円以上	5,000円
6,000円以上10,000円未満	3,000円

#### ▼県内キャンプ場



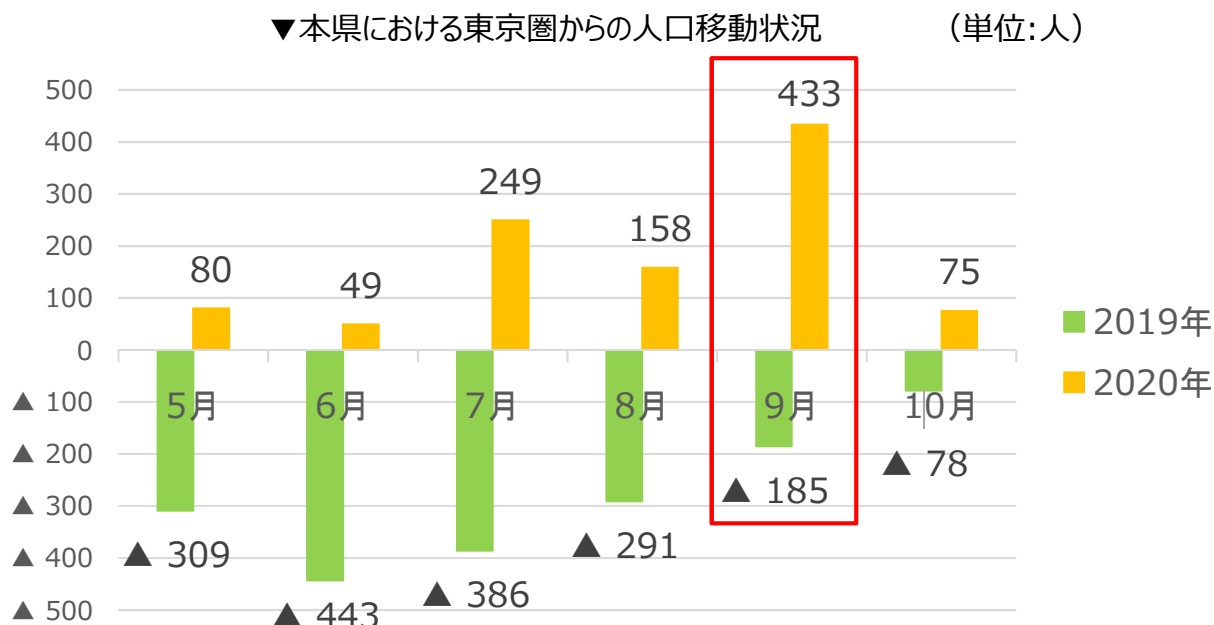
#### ▼つくば霞ヶ浦りんりんロード





## 地方移住への関心の高まり

### ● 本県の東京圏への人口移動は転入超過へ



出典：住民基本台帳人口移動報告（総務省）

### ▼他道府県の東京圏からの転入超過者数（2020.9）

順位	都道府県名	転入超過者数（人）
1	茨城県	433
2	長野県	188
3	青森県	157
4	山梨県	131
5	北海道	122

地方への移住ニーズの高まり

### ◆ たのしむ茨城テレワーク移住促進事業【R2.7補正】

- ・テレワーク移住促進PRサイトの構築
  - ・県内市町村が企画する地域の魅力を生かした移住推進事業の提案を募集
- 本県の優位性（住環境、首都圏との近接性）を効果的にPR



▲いばらき移住定住ポータルサイト「Re:baraki」

## 都道府県魅力度ランキング

◆2020年調査で7年連続最下位（2013～2019）から脱却（2020：42位）

## 魅力度向上への取組

- ・**県アンテナショップ「IBARAKI sense」を  
ネット通販サイト「PayPayモール」にもオープン（都道府県初）**  
→県産品のPR、販路拡大へ
- ・**県公認Vtuber「茨 ひより」が通販形式の番組を配信**  
→いばキラTVの生配信にて紹介した直後に、  
お取り寄せサイトで通常の約10倍の販売実績を記録
- ・**つくば市に広域通信制高等学校「S高等学校」が開校（R3.4～）**  
→最先端のコンテンツを活用した魅力ある教育環境づくりを推進
- ・**PRキャンペーン「体験王国いばらき」を開始（R3.1.12～）**  
デヴィ夫人を王国の「女王」に起用し、  
海・山・湖でのアクティビティや、豊富な農産物など、  
様々な体験を楽しめる本県の豊かな環境をPR



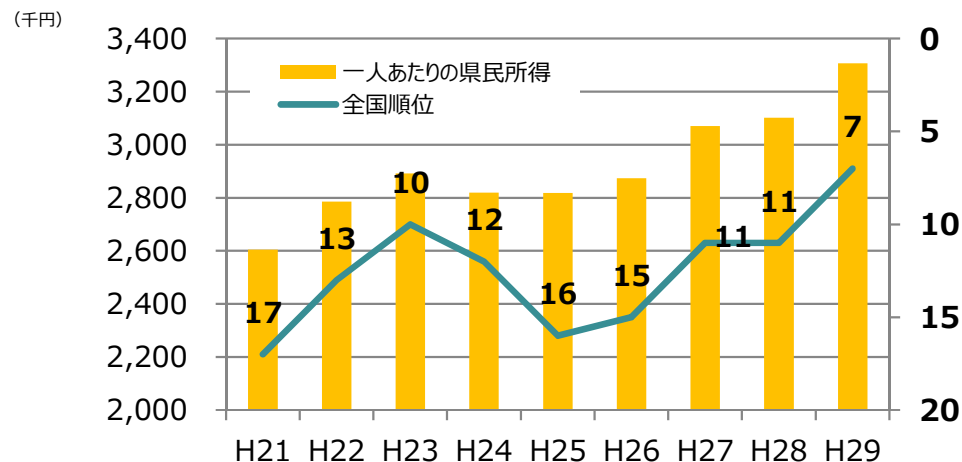
▲茨 ひより（茨城県公認Vtuber）が番組出演



## 県民所得の向上

### ◆H29県民経済計算の結果

- 名目・実質ともに経済成長率が**全国第1位**に
- 1人当たりの県民所得も前年から上昇し、**全国第7位**に



▲県民所得の推移 (H21~H29)

## 県民サービスの向上へ向けた県庁のデジタル化

### ◆全都道府県の中で**総合1位**を獲得

※「行政サービスの向上・高度化」や「業務システムの効率化」などの4分野+マイナンバーカードの交付枚数率が評価項目

主な県庁内部の電子化の取組

- ・電子決裁率100%の達成
- ・RPAの導入
- ・行政手続の電子化  
(電子申請の推進、押印廃止)

### ▼都道府県電子化推進度ランキング (上位5府県)

順位	都道府県名	得点
1	茨城県	70.6
2	神奈川県	66.8
3	愛知県	66.5
4	静岡県	64.9
5	京都府	63.5

出典：日経グローバル (2020年11月16日号)

# 「新しい茨城」への挑戦



茨城県総合計画  
「新しい茨城」への挑戦



▲総合計画の政策体系



# 新しい豊かさへのチャレンジ

力強い産業の創出とゆとりある暮らしを育み、新しい豊かさを目指します。

## ★地域の産業や中小企業の競争力強化

- ・次世代技術を活用した中小企業の新ビジネスの創出について、知識の修得からビジネスプラン構築、展開まで、一貫して支援【R2拡充】
- ・デジタル革命を担う高度IT人材を育成・確保するため、「いばらき高度IT人材アカデミー」を創設【R2新規】
- ・高い技術力をもった企業や研究機関が集積する県北地域において、企業連携体の活動や、高度人材確保の取組を支援【R2新規】

## ★県内の人手不足解消に向け、外国人材の確保を推進

- ・外国人雇用モデル企業創出のため、受入体制整備から採用活動までを一貫して支援
- ・県内産業を支える優秀な外国人材の受入促進に向け、インドネシア教育大学と協力覚書を締結（R2.11.26）

## ★成長分野等の企業誘致を推進

- ・様々な分野の雇用を創出するため、AI,IoT,次世代自動車など成長分野の研究施設や本社機能等の誘致を推進
- ・H30に県内への本社機能等の移転に対する最大50億円となる全国トップクラスの補助制度を創設



▲協力覚書締結式（オンライン）

▼企業へ認定書を交付



### ★常陸牛を世界トップブランドに育成する ための一貫した生産体制を構築【R2新規】

常陸牛のブランド力向上と儲かる経営体を育成するため、和牛繁殖雌牛の増頭や能力向上などを支援し、子牛の生産から肥育まで一貫した生産体制の構築と常陸牛の高品質化を推進

### ★国内外で需要が拡大している 本県産かんしょの生産拡大を促進【R2新規】

- ・荒廃農地等を再生するかんしょ農家等に対し、荒廃農地等の再生に係る費用を補助
- ・かんしょ農家に農地を貸し出す農家に対し、農地貸付協力金を交付  
→令和2年産の作付面積が111ヘクタール拡大

### ★本県農産物を全国トップブランドに育成し、 イメージ向上・高付加価値化を促進

誰もが認めるトップブランドの育成を目指し、茨城県が開発した梨「恵水」と新たな銘柄豚肉「常陸の輝き」について、高級果実専門店や高級飲食店でのフェア開催、メディアを通じた情報発信等により認知度向上を図り、戦略的な営業活動を展開





# 新しい安心安全へのチャレンジ

医療、福祉、治安、防災など県民の命を守る生活基盤を築きます。

## ★地域医療を守るための医師不足緊急対策

### ◇最優先で医師確保に取り組む医療機関・診療科の選定

- ・政策医療を確保する観点から選定した医療機関・診療科の必要医師16名の確保に向けて寄附講座等重点的な対策を実施  
→目標数確保の見通し

### ◇医師派遣調整の実施

- ・茨城県地域医療対策協議会を活用し、大学へ医師の派遣を要請するスキームを医師確保計画（R2～R5）に位置付け、政策医療を担う医療機関の医師を確保  
→令和3年度からの派遣に向けて協議中



▲筑波大学附属病院

## ★県内初 筑波大学附属病院高度救命救急センター稼働（R2.4～）

- ・重篤な全身やけどなど、県内6つの救命救急センターで対応困難な患者に対して、24時間体制で高度な救急医療を提供

## ★健康長寿日本一を目指し、減塩への意識啓発を目的とした「いばらき<sup>おい</sup>美味し<sup>い</sup>おDay」（減塩の日）の制定（R2.11.20スタート）

- 県民の減塩への意識を醸成し、生活習慣病予防を図るため、減塩の日に併せ、県内のスーパーに減塩商品特設コーナーの設置等を実施
- ・一定の条件を満たす適塩メニューを提供する飲食店を「いばらき<sup>おい</sup>美味し<sup>い</sup>おスタイル指定店」として指定



## ★国土強靱化3か年緊急対策に対応した防災・減災対策や、ソフト対策を推進

- ・道路の法面对策や橋梁の耐震化、河川改修等
- ・住民避難訓練とマイ・タイムライン作成講座等に新型コロナウイルス感染症対策を組み合わせ、より実践的な防災訓練を実施  
※従来の、関係機関を主として実施する県総合防災訓練を見直し
- ・マイ・タイムライン作成支援動画を県ホームページに公開  
→**県民の防災意識、自助・共助の意識の向上**

## ★地域のことは地域で解決する新たな「茨城助け合い運動」を展開

行政のみでは対応が困難な地域課題を解決するため、先進的な取組を行うNPO等に対する支援（提案型助成事業）  
→**現在12件採択**

～採択事業例～

- ・ひきこもり者の居場所づくり、回復訓練
- ・在住外国人の生活支援拠点の整備
- ・子ども食堂への食材供給拠点の整備等
- ・移動販売車による買い物困難者の支援
- ・自主防災組織等の防災活動の支援



▲R2避難力強化訓練の実施風景（R2.10.31）



▲マイ・タイムライン作成支援動画



▲採択事業者の活動実施風景  
（子ども食堂への食材供給拠点）





# 新しい人財育成へのチャレンジ

茨城の未来をつくる「人財」を育て、日本一子どもを産み育てやすい県を目指します。

## ★社会の変化や地域のニーズへ対応した特色ある学校づくり

- ・「県立高等学校改革プラン」実施プラン I 期（第 2 部）（R2.8）による県立高校の改編等  
→AI・IoTなど科学技術の進展、IT人財の不足、外国人生徒等の増加への対応

区分	対象校	改編の主なポイント	実施年度
大学・研究機関と連携したサイエンス専科高校	つくば工科高等学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内初の「科学技術科」を設置</li> <li>・AI分野につながるカリキュラムを展開</li> <li>・実験・研究を中心としてゼミを通じた課題研究（県内大学、研究機関、企業等と連携）</li> </ul>	R5～
全国初のIT専科高校	友部高等学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国初（公立校）の「IT科」を設置</li> <li>・学習と起業の両立など多様な学び方を実現</li> <li>・システム開発、WEBデザインに繋がる多様な専門科目を設置</li> </ul>	R5～
柔軟な学習支援で外国人生徒へのサポート強化を目指す県内初の学校	石下紫峰高等学校 結城第一高等学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国でも例の少ない、総合的な外国人生徒支援体制を構築（学習支援、学校生活支援、募集枠拡大）</li> </ul>	R4～

## ★ICT教育環境の整備

- ・1人1台の情報端末等の環境整備による、デジタル教材、遠隔教育、クラウドサービス等の先端技術を活用した教育活動の推進  
→GIGAスクール構想の実現に向けて前倒しで実施  
【R1最終補正、R2当初、R2.4補正、R2.6補正、R2.12補正】

### ★変化の激しいこれからの時代を 「生き抜く力」を養成

#### ・IBARAKI ドリーム・パス事業

- ・高校生等が、自分の夢実現や地域課題解決に向けて企画立案し実践する取組を通して、高い創造意欲とリスクに対しても挑戦することができる力（アントレプレナーシップ）を養成
- ・今年度も104チームから提案  
→取組成果を発表するプレゼンテーション大会を開催予定（R3.3）



▲R2.1.19 IBARAKI ドリーム・パス AWARD開催

### ★中高生にトップレベルの英語・プログラミング 学習の機会を提供

#### ・次世代グローバルリーダー育成事業

英語の学習意欲・能力の高い中高生に、トップレベルの英語力や思考力を育成

#### ・プログラミング・エキスパート育成事業

全国トップレベルのプログラミング能力を持つ中高生を育成するとともに、多くの学生がプログラミングに興味を持つような学習サービスを提供



▲次世代グローバルリーダー育成事業  
研修会の様子

### ★小中学校における遠隔教育の実証研究【R2新規】

高度な専門性や優れた指導力をもつ人材を活用した遠隔教育の実証研究を行い、質の高い教育の実現へ



▲遠隔授業の実施風景



# 新しい夢・希望へのチャレンジ

将来にわたって夢や希望を描ける県とするため、観光創生や魅力度向上を図ります。

## ★世界的なスタートアップイベントの誘致等により 起業・創業の拠点都市を形成

- ・国内外の起業家や研究者など多様な人材が交流し、  
新たな事業展開や投資の呼び込みを目指す  
「TSUKUBA CONNECT」を開始（R2.8）  
→「ベンチャー・カフェ」※によるイノベーション創出交流プログラム、  
イベントを継続的に提供  
計10回開催・約1,450名参加（R2.12現在）

※2010年にボストンで設立された、起業家や投資家、研究者などが集まり、繋がり、  
学びあうことでイノベーションを生み出すコミュニティ。現在、世界5カ国9都市で展開

## ★県北地域をめぐる「ロングトレイルコース」の整備

- 点在する多様な地域資源をつなぎ、新しい滞在・体験型のツーリズムを推進  
→大子町の一部区間で開通予定（R3.3）



▲ベンチャー・カフェの開催風景



▲ロングトレイル下草刈りモニターイベントの様子

## ★県有施設の磨き上げ、魅力の再発見・再発信

### ○アクアワールド茨城県大洗水族館

- ・「夜」でも楽しめる水族館へ12/18リニューアルオープン
- ・幻想的なクラゲの大水槽の新設
- ・「音と光」を用いた新感覚のイルカショーの開催  
→「ひたちなか大洗リゾート構想」（H31.3策定）の枠組の中で他の観光資源と連携した誘客促進策により地域経済を活性化。



▲クラゲの大水槽（新設）

### ○偕楽園

更なる魅力向上と誘客促進を図り、**日本を代表する観光拠点へ**

- ・適正な受益者負担のもと、歴史的景観の復元など更なる魅力向上へ（入園有料化 R 1.11～）※梅まつり期間を除いて県民は無料
- ・偕楽園拡張部の飲食施設について、県内初のPark-PFI制度を活用し公募



▲パークレストラン外観イメージ（偕楽園）

### ○茨城県フラワーパーク

民間企業の経営感覚と発想を活かした大規模な改修を実施中  
(R3.4下旬リニューアル予定)

### ○県民の森と県植物園

一体的な活用による新たな観光拠点の創出に向け、  
**民間アイデアを取り入れた魅力向上方策を検討【R2新規】**



▲フラワーパークの新しいロゴ